

我が国において、お茶は伝統と文化を育みながら国民の生活に深く浸透し、豊かで健康的な生活の実現に寄与しています。令和7（2025）年4月に農林水産省が策定した「^{ちやく}茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」では、子供の頃からお茶に親しむ習慣を育むことができるよう、学校教育の場等において、お茶の生産から加工・流通、消費までの一連の流れを学び、我が国の食文化への理解を深めることなどを目的として、お茶を活用した食育（以下「茶育」という。）を推進することとしています。

農林水産省は、茶育に取り組む茶業関係者と学校関係者等とのマッチングを図る「茶業関係者×農林水産省「茶育」プロジェクト」に取り組んでおり、全国の小・中学校等において、茶育に取り組むきっかけとなるような茶業関係者の取組事例を紹介しています。

これまでに紹介している事例では、お茶のいれ方教室、お茶の飲み比べ、地域の方々との交流と合わせた茶摘み体験等、直接お茶に触れながらお茶について学び、お茶を身近に感じられるような幅広い取組があります。茶育に参加した子供たち、学校関係者等からは「茶育がきっかけで家庭でもお茶をいれるようになり、親子でのコミュニケーションも増えて良かった。」などの感想があり、取組による効果がうかがえます。

今後も、プロジェクトへの参加者を募りつつ、更なる事例を収集し、お茶の消費拡大に向けた活動を行っている団体等と取組を発信していきます。それにより、一層のお茶の消費拡大につながるよう全国各地に茶育の取組を広げていきたいと考えています。



子供たちがお茶をいれている様子



お茶のいれ方教室の様子



「お茶のページ」（農林水産省）

URL : <https://www.maff.go.jp/j/seisan/tokusan/cha/ocha.html#chaiku>